

小野選手 笑顔で頑張れ!

県内出身の高校3年生、いざ大舞台へ——。北京冬季オリンピックのスピード女子ハーフパイプ(9日予選、10日決勝)に、吉川市在住の小野光希選手(17)が登場する。同種目代表4人のうち最年少だが、直前のワールドカップで表彰台に立つなど期待もあふらむ。「笑顔で頑張れ!」「目指せ、金メダル!」。学校の同窓生や学校関係者ら市民は熱い声援を送る。

【武田良敏】

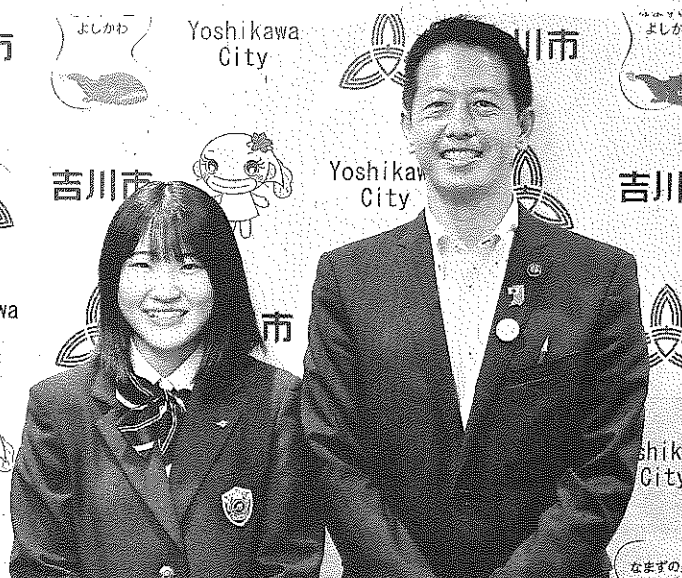
北京
2022

どトップ級に。東京の成立学園高に在学しながらユース五輪で金メダルを獲得。今回初の五輪代表に選ばれた。

両親らの影響で幼少期からスノーボードを始めた小野選手。市立関小学校5年時にプロ資格を取得。夏場も神奈川県内での練習に通い才能を開花させ、中央時代にジュニア世界選手権で優勝するなどの強さが大事」と語っ

同窓生や市民 熱い声援

ていた。身長154センチ、転も飛ぶ大技を見せてと小柄だが上を何回くねるはずだ。



市は1月末、JR小野選手にも写真を贈る。吉川駅に五輪出場を祝う横断幕を掲示。ありがとう」とSNSでメッセージが返って高く飛び、表彰台に立

市は1月末、JR小野選手にも写真を贈る。吉川駅に五輪出場を祝う横断幕を掲示。ありがとう」とSNSでメッセージが返って高く飛び、表彰台に立

